

プログラム番号：	030717411	臨床研修病院の名称：唐津赤十字病院
病院施設番号：	030717	唐津赤十字病院
臨床研修病院群番号：	0307174	臨床研修病院群名：唐津赤十字病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	唐津赤十字病院初期臨床研修自由選択プログラム				
2. 研修プログラムの特色	本院は佐賀県北部における唯一の総合診療機能を有する病院であることから、この地域における2.5次ないし3次の救急患者の大半が本院に搬送されている。さらに急性期医療を中心に、地域救命救急センター、地域医療支援病院、地域災害拠点病院、地域災害拠点病院、原子力災害拠点病院としての診療機能を果たしており、1次医療は勿論2次救急の初期医療に必要な技能と知識は確実に修得できる。また、がん診療拠点病院としての癌の専門的診療、従事者研修等を実施、がん診療に対する様々なアプローチ法を学ぶことができ、まさに初期研修を受けるには最適な病院である。 急性期医療を展開している当院において1年次に内科6か月、救急3か月の研修を行い、2年次においては、研修可能施設も複数選択可能である。当院以外に佐賀県内のその他の基幹型研修病院を組み合わせての研修が可能である。 なお、ローテーション期間の目安が週単位で示されているが、他の職種や他施設の人事異動等との兼ね合いから、4週を1か月、8週を2か月とする。				
3. 臨床研修の目標の概要	研修医が独立してプライマリーケア及び救急医療が行えるよう基本的な知識及び技能等厚生労働省が定める「臨床研修の到達目標」を修得するとともに、医師にふさわしい態度、倫理観を養い、患者並びに家族から厚い信頼を得ることの出来る医師となることを目的としている。また、採用時研修会、定期的に開催されるリスクマネジメント検討会や医療安全研修会に出席し、安全な医療を実践することを研修目的としている。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	123456	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030717	唐津赤十字病院	24週	2週
	救急部門	030717	唐津赤十字病院	12週	
	地域医療	041131	唐津市民きたはた	4週	一般外来
		086147	医療法人元生会脇山内科		2週
		096097	唐津市馬渡島診療所		
		137227	唐津市小川島診療所		在宅診療
		137228	唐津市加唐島診療所		2週
	外科	030717	唐津赤十字病院	4週	
	小児科			4週	1週
	産婦人科			4週	
	精神科	035040	虹と海のホスピタル	4週	
		035039	松籟病院		
	一般外来				

病 院 必 修 科 目 で 定 め た					
選 択 科 目	内科	030717 030716 030714 030917 030718	唐津赤十字病院 佐賀大学医学部付属病院 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 独立行政法人国立病院機構佐賀病院 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター	<u>48週</u>	
	救急科				
	外科				
	小児科				
	整形外科				
	脳神経外科				
	麻酔科				
	皮膚科				
	泌尿器科				
	放射線科				
	眼科				
	病理診療科				
	産婦人科	030717 030716 030714 030917 030718 041118	唐津赤十字病院 佐賀大学医学部付属病院 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 独立行政法人国立病院機構佐賀病院 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター 久保田レディースクリニック産婦人科・麻酔科		
	精神科	035040 035039 030716	虹と海のホスピタル 松籟病院 佐賀大学医学部附属病院		

* 必修科目の地域医療の際に佐賀県赤十字血液センターにて2日、唐津保健所にて1日の研修を行う。

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低52週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大12週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみならず休日・夜間の当直回数・・・約0回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4週※但し、4週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、小児科、地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

[illegible]

* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。